

## 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1 期 日 令和5年7月4日(火)

2 会 場 全員協議会室

3 開会時刻 午前10時57分

4 閉会時刻 午前11時24分

5 出席者	委員長	松浦昌巳	副委員長	松本 均
	委員	草賀章吉	委員	山本行男
	〃	二村禮一	〃	窪野愛子
	〃	寺田幸弘	〃	勝川志保子
	〃	鈴木久裕	〃	富田まゆみ
	〃	藤原正光	〃	藤澤恭子
	〃	嶺岡慎悟	〃	大井 正
	〃	橋本勝弘	〃	安田 彰
	〃	石川紀子	〃	山田浩司
	〃	高橋篤仁	〃	鷺山記世

事務局出席者 議事調査係 平川 陽

6 審査事項  
・議案第76号 令和5年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について

7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和5年7月4日

市議会議長 山本裕三様

予算決算委員会委員長 松浦昌巳

## 7 会議の概要

令和5年7月4日（火） 午前10時57分から、全員協議会室において全委員出席のもと開催。

### 1) 委員長あいさつ

### 2) 審査事項

#### ①議案第76号 令和5年度掛川市一般会計補正予算（第3号）

○委員長（松浦昌巳） それでは、2の審査事項に入ります。

議案第76号 令和5年度掛川市一般会計補正予算（第3号）を議題とします。

それでは、財政課の説明をお願いします。

[財政課説明 10:58～11:00]

[質疑] 質疑なし

次に、長寿推進課の説明をお願いします。

[長寿推進課説明 11:00～11:02]

[質疑 11:02～11:04]

○委員（勝川志保子） 応急復旧工事となっていますよね。そうすると、実際にはこの後また工事がされないと、同じようなことが起こりかねないというふうに思っているのか。この応急復旧は、昨年も工事が行われて、今回も工事が行われるわけなんですけれども。これでなんとか土砂流入がなくなるか。復旧工事は必要なくなるということであるのか。また出るような可能性はないということであるのか。確認させてください。

●長寿推進課長（藤田明宏） 今回の大雨で、敷地内の被害は最小限でした。去年は敷地内に土砂が流入しまして工事をさせていただきました。今回の工事をすることによりまして、施設に土砂が流入することはなくなるというふうに考えております。

しかし、雨水が山から来るので、土砂は水路に溜まってしまう可能性はあります。ですので、施設に影響はもうないという考えですが、土砂と水が水路に、少し被害を出してしまう可能性はあります。以上です。

○委員長（松浦昌巳） その他、質問のある方はいらっしゃいますか。それで質疑を終結します。それでは、続きまして、環境政策課深田課長、説明をお願いします。

[環境政策課説明 11:04～11:05]

〔質疑〕 質疑なし

○委員長（松浦昌巳） 農林課の説明をお願いします。松永課長。

〔農林課説明 11:06～11:08〕

〔質疑 11:08～11:14〕

○委員長（松浦昌巳） 質問はありますか。鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） 用語のことです。災害復旧と応急復旧は、それぞれどんなものをどの程度までということを出して、教えていただければありがたいです。

○委員長（松浦昌巳） 松永農林課長。

●農林課長（松永真也） まず、頭首工施設の関係ですけれども、頭首工につきましては、現在いわゆる取水がうまくできておりませんので、川の中にきちんとその取水ができるように、河川道といいますか、道をつくりまして。そこに水を誘水できるような形で施設を造ってまいります。左岸側の護岸が崩れてございますので、その左岸のところは、きちんと護岸を整備するという形を行います。

それから今言った復旧工事等の内容でございますけれども、まずは倒木、それから崩土がかなり多いものですから、まずその辺の除去を行いまして、それから、護岸等の土留めが必要な場合には、土留めを行います。そして、最終的には道路につきましては、舗装をしてあるところは、原型復旧をしますので、舗装をもう一度します。そうでないところは、元の形にやっていくと考えています。

○委員（鈴木久裕） 災害復旧という言葉と、応急復旧という言葉の使い分けについて、説明をしていただきたい。

●農林課長（松永真也） 応急復旧は、その現道等を取り急ぎ使えるようにする工事のことを言っております。災害復旧については、元の形、原型に戻すといった形で工事をして元通りにすると定義しております。

○委員長（松浦昌巳） その他質問はありますか。大井委員。

○委員（大井正） 細かい工事がたくさんありますと、予算取りの関係で、えいやとお金を出すのはやむを得ないと思うんですけれども。最終的に、更地に新しいものを造るんだと、標準プラン、部材代などありまして、過不足なく算定できると思うんですが。こういうふうに点々としたものをたくさん、現場ごとに復旧だったり応急復旧だったり、通ってみたら舗装が壊れていたということになりますと。積算が難しいのではないかと思います。実際的な査定額の決め方と業者に対する支払いの金額の決め方、最後に部調整など、どんな仕組みに

なっていますか。

●農林課長（松永真也） 技術的なことですので、前嶋主幹からお答えします。

●農林課主幹（前嶋史明） 単独災につきましては、200万円以下がほとんどですので、業者からの見積もりを取って、それを査定して支払いをするという形になっております。以上です。

○委員長（松浦昌巳） 大井委員よろしいですか。

○委員（大井正） 業者がたくさんやったとき、査定が面倒くさいですよ。総額でいくらとばらまいてしまうと。身に覚えがあります。これは、業者を悪く言うのではなくて、スピード感から、やむを得ない部分はあるかと思えますけれども、全然関係ない委託業務の話で不具合も出ていますので、その辺もしっかりと事後説明が付けばいい。業者もいかに災害復旧でも、身銭を切ってやることはないので、そちらへの補填もしっかりした上で、市民が納得できるような最終清算をお願いしたいと思います。

○委員長（松浦昌巳） 討議もあるものですから、そちらでお話していただければと思います。質疑を終結します。

○委員長（松浦昌巳） 土木防災課中山課長お願いします。

〔土木防災課説明 11:14～11:16〕

〔質疑 11:16～11:18〕

○委員長（松浦昌巳） 質疑はございますか。鈴木委員。

○委員（鈴木久裕） とにかく使えるようにするという応急復旧なんだけど。来年度以降本格的にやるのか、使える状態で、次に痛む時まで何とか持ちこたえて欲しいという気持ちで、置いておくのかそのあたり、どんな見込みになっていますか。

●土木防災課（中山喜智） 災害復旧は、基本的に原型復旧ですので、崩れたところは、道路については土を取って、法面については、大体露岩することが多いので、基本的にはそのままという形になります。河川等については、護岸の洗堀はある程度長い距離でされるんですけども、こちらの方も現状、状況を見ながら影響範囲を見ながらやっていきたいと考えています。ただ、将来的には災害復旧をやりながら、回収を進めた方がいいというものについては、予算の要求についても検討してまいりたいと思っています。

○委員長（松浦昌巳） それでは質疑を終結します。

〔維持管理課説明 11:18～11:20〕

〔質疑〕 質疑なし

○委員長（松浦昌巳） これから委員間討議に入ります。討議はありませんか。

〔討論 11:20～11:23〕

○委員（鈴木久裕） 梅雨の初期からこんな大きな災害がいろいろ出て、担当も大変だと思いますけど、なるべく早い復旧をしていただいて、市民生活が元に戻るようにしていただきたいなというふうに思います。

○委員長（松浦昌巳） ただいまの鈴木委員の方から、早い復旧して市民の生活を早く守ってあげてくださいということをご意見いただきました。これに関して何かご意見ある方はいますか。大井委員。

○委員（大井正） 私の家の周りでもだいぶいろんな工事を行われてるんですが、どう考えても業者不足。マンパワー不足だと思われま。今後、コロナ禍における医療体制と同じようなことが、自然災害に対する土建業界で起きてくるんじゃないかと。そういう意味では、行政と建設業界とコミュニケーションがどのように取られているのか。今後改善の余地がないのかということが気になります。

○委員長（松浦昌巳） 大井委員より、業者不足が心配されると。行政と業者との連携が必要ではないかというご意見がありました。意見はありますか。

○委員（窪野愛子） もっともな意見だと思います。先日の一般質問で高橋委員が質問されたことですが、行政の担当も人手不足という話もあって。OBの方にいろいろお願いしたいということ、それをもっと迅速に組織してやっていっていただけたらなって。災害が頻繁に起こって、予算の話もありましたけれども、早急に検討することをしていただけたらと思えました。

○委員長（松浦昌巳） 意見のある方はいらっしゃいますか。以上で討議を終結します。

〔討論〕 討論なし

〔採決〕

議案第76号 令和5年度掛川市一般会計補正予算（第3号）

**全会一致で原案は可決すべきものと決定**

○委員長（松浦昌巳） 以上で予算決算委員会を終了します。

3) 閉会中継続調査の申し出

**閉会中継続調査申出書のとおり決定**

4) 閉会 午前11時24分